



“よいよいまちへ”あなたの声が古賀市に届きます！

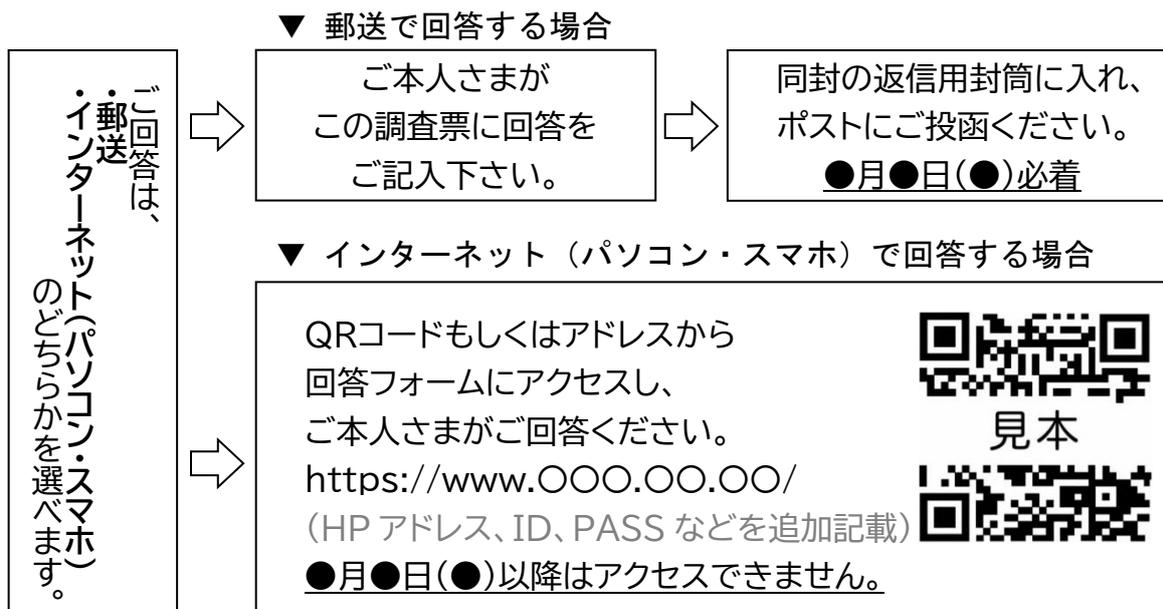
～環境基本計画 次期計画策定のための住民アンケート～

○市民アンケート調査へのご協力のお願い ○

日ごろより古賀市の環境行政にご協力いただき、ありがとうございます。

- この調査は、住民の皆さまが環境について日ごろ感じていることや、実際に取り組んでいることをお聞きすることを目的としています。
- いただいたご意見は、古賀市の環境づくり（第3次環境基本計画の策定）に活かします。
- 回答に要する時間の目安は15～20分程度です。

より住みよく魅力的な古賀市にしていくため、20分間のご協力をお願いします！



本アンケートは、古賀市にお住まいの方のうち、無作為に抽出した 1,000 人（18 歳以上）を対象としています。なお調査は無記名で実施し、ご回答いただいたアンケート結果は、統計的に処理・分析し、次期計画を策定する上での参考データとさせていただきます。他の目的には使用しません。

【問合せ先】古賀市 環境課 【担当】市川・村山

〒811-3192 福岡県古賀市駅東 1-1-1

TEL：092-942-1127 FAX：092-942-1291

ご自身について

問1. ご自身についてお聞きします。

(1つ選び番号に○をつける)

性別	1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
年齢	1. 10歳代 4. 40歳代 7. 70歳以上	2. 20歳代 5. 50歳代	3. 30歳代 6. 60歳代
職業 (近いもの)	1. 農業 4. その他自営業 7. 主婦/主夫 10. その他()	2. 林業 5. 会社員 8. 学生	3. 商工業 6. 公務員 9. 無職
居住地区 (小学校区)	1. 舞の里 4. 古賀東 7. 青柳 9. 該当地区がわからない(町(区)名:)	2. 千鳥 5. 古賀西 8. 花鶴	3. 小野 6. 花見
お住まいの場所 の周辺は	1. 古くからの住宅地 3. 商店街 5. 住宅、商店、工場等が混ざった地域 7. その他	2. 新興住宅地 4. 工場、事業場地域 6. 農業集落	
古賀市での 居住年数	1. 5年未満 3. 10年以上~20年未満 5. 30年以上	2. 5年以上~10年未満 4. 20年以上~30年未満	

問2. ご世帯についてお聞きします。

(一つ選び番号に○をつける)

世帯人員	1. 1人 4. 4人	2. 2人 5. 5人	3. 3人 6. 6人以上
世帯構成	1. 単身世帯 4. 三世代(親・子・孫) 5. その他()	2. 夫婦のみ	3. 二世代(親・子)
住居形態	1. 一戸建て/持ち家 3. 集合住宅/持ち家	2. 一戸建て/借家 4. 集合住宅/借家	

- ・現行計画の施策体系別に満足度と重要度を問うことで、現行計画の評価に活用するとともに、次期計画の施策体系の検討に活用
- ・「人と自然とふれあう場の保全・創出」、「大気環境その他の保全」の満足度は現行計画の評価指標

問5. 市が実施している環境をよくするための施策について、どのくらい満足していますか。また、それらはどれくらい重要であるとお考えですか。項目ごとの「満足度」と「重要度」をお答えください。

(それぞれ1つ選び、番号に○をつける)

項目	満足度					重要度				
	かなり満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	かなり不満	かなり重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
1. 人と自然との「共生」 人と自然が共生するまちをめざします。										
保全方針・戦略の策定 (生物多様性の保全に向けた体制の構築/自然環境調査の実施と「古賀市生物多様性地域戦略」の策定/生物多様性の保全に向けたガイドラインの作成)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
森林の保全・農地の保全と活用(里地里山の保全) (農地の保全と有効活用/森林・松林の適正な管理と保全/農業者・団体の人材育成)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
人と自然とふれあう場の保全・創出 (葉王寺水辺公園及び小学校内ビオトープの計画的な保全と活用/自然環境に配慮した河川・公園の保全と創造)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 「快適」で「安全」な住環境の確保 環境への負荷を減らし、快適で安全安心なまちをめざします。										
大気環境その他の保全 (生活環境苦情などに対する適切な対応/光化学オキシダント及び微小粒子状物質(PM2.5)の基準超過時における適切な対応/自動車騒音の計画的な測定・監視)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
水環境の保全 (定期的な水質調査の実施/公共下水道・農業集落排水・浄化槽事業の推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 緑・歴史・風景の「調和」 緑や歴史、風景が調和したまちをめざします。										
都市景観の維持・形成 (景観まちづくりセミナーの実施/景観まちづくり教育プログラムの実施/屋外広告物の管理/公共空間景観形成ガイドラインの推進)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
歴史・文化的景観の保全と活用 (指定文化財の適切な維持管理と有効活用)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

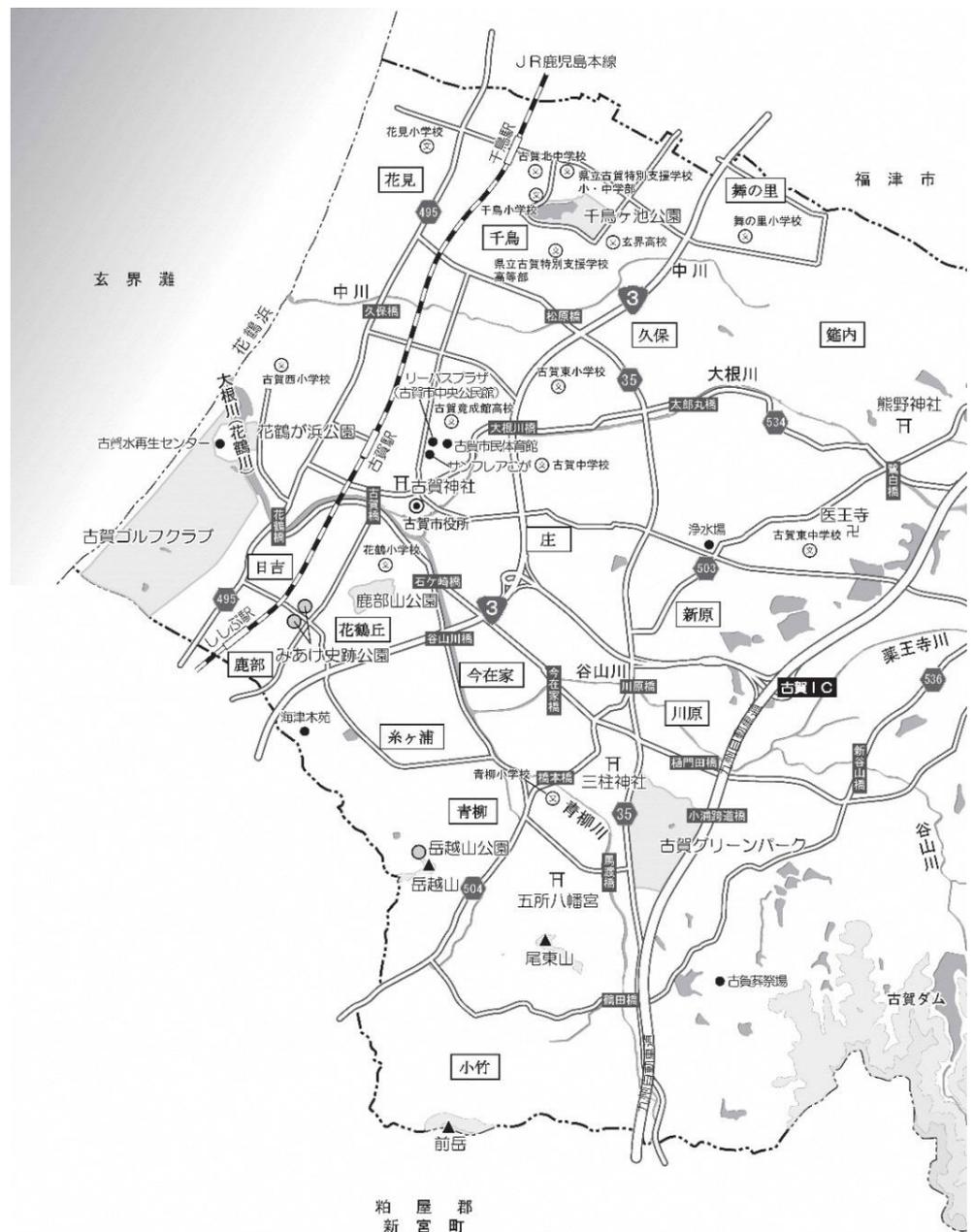
項目	満足度					重要度				
	かなり満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	かなり不満	かなり重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない
4. 「低炭素」社会の構築 省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの導入などを進め、地球温暖化対策を推進する低炭素型のまちをめざします。										
古賀市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の推進 （再生可能エネルギー導入の推進/家庭でできる省エネルギー行動の効果検証/事業者への環境マネジメントシステム導入の促進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
古賀市地球温暖化防止率先行動計画の推進 （公共施設における再生可能エネルギー導入の推進/グリーン購入及び庁舎の省エネルギーの推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 「循環」型社会の構築 ごみの減量、資源の循環を進め、循環型のまちをめざします。										
ごみの減量と資源化対策 （生ごみを減量するための水切りやマイバッグなどの啓発促進（家庭系ごみ）/資源化率を上げるための分別品目の検討（家庭系ごみ）/ごみの減量と資源化に関する啓発や情報提供（事業系ごみ）/資源化率向上のための取り組み（事業系ごみ））	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 「共働」の環の拡大 自ら行動し、みんなで協力してよりよいまちをめざします。										
環境保全活動に関わる個人・団体の連携強化 （市・ぐりんぐりん古賀などの共働による環境保全活動の推進/市・ぐりんぐりん古賀を中心とした個人・団体との環づくり）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
環境保全活動に関する情報の提供及び活動の推進 （環境保全活動に関する情報発信の強化/市内の美化活動の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
年齢層に応じた環境教育・学習の充実 （環境教育プログラムの作成と活用/事業者向け環境教育の充実）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
環境教育の担い手の育成、活動の推進 （古賀市版「環境カウンセラー」の登録制度確立と人材育成/環境保全に関する交流の場づくり）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

- ・前回と同様に、市内で残して欲しい場所や改善したい場所を把握して計画に反映する。

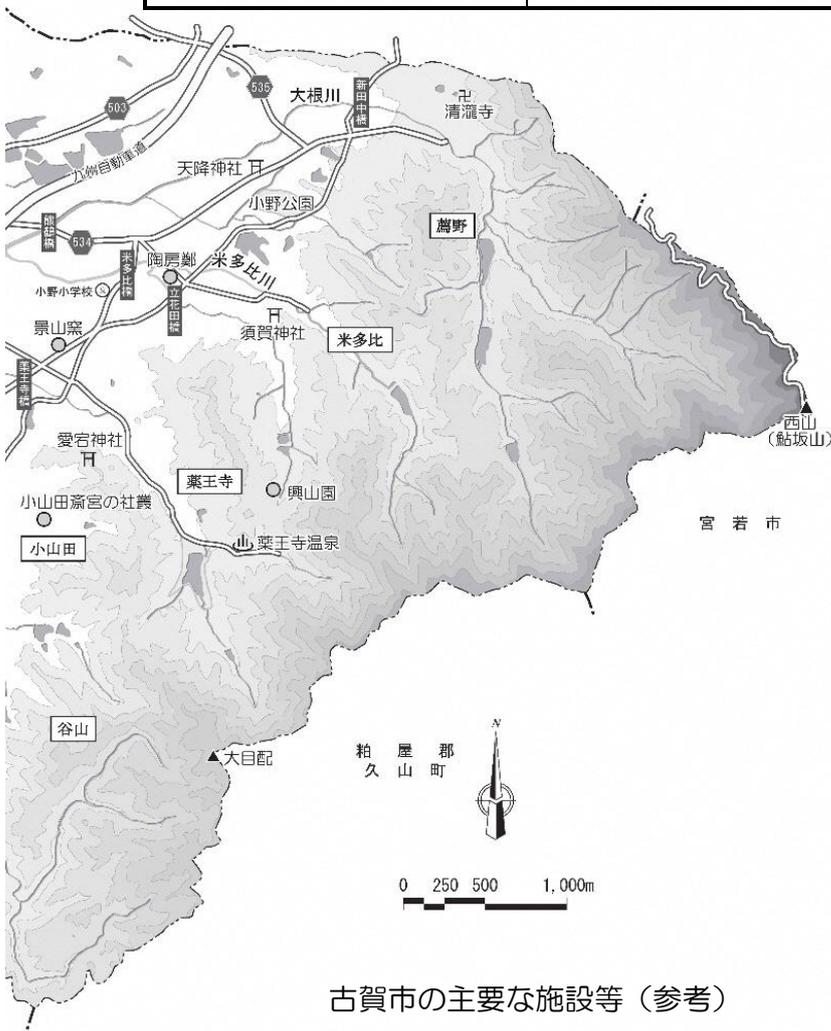
市内の自然環境への関心について

問6. 地図上の名称を参考に、A～Eの質問に対して該当する場所をご記入ください。
また、その場所を選んだ理由を、簡単にお書きください。

質問	該当する場所	選んだ理由
【記入例】	①須賀神社周辺の森	夏の緑が美しい
A. 特に残して欲しい緑 (自然的な森、林など)	①	
	②	
	③	



質問	該当する場所	選んだ理由
B. 特に残して欲しい水辺 (自然豊かな川、池など)	①	
	②	
	③	
C. 特に残して欲しい景観等 (古い町並み、歴史を感じさせる 建物など)	①	
	②	
	③	
D. 特に残して欲しい場所	①	
	②	
	③	
E. 特に改善して欲しい場所 (例：コンクリート護岸の水辺、 ごみ不法投棄場所、不必要なネ オンなど)	①	
	②	
	③	



古賀市の主要な施設等（参考）

・前回と同様に、身近な環境の良い面、悪い面を把握することで、前回からの変化を確認し、計画づくりに活かす。

身近な環境について

問7. あなたのお住まいの身近な環境についておたずねします。

(1) 特にすぐれていて、将来も守っていききたいものは何ですか。

(下の1～20の項目の中から上位順に3つ番号を記入する)

特にすぐれており、 将来も守っていききたいもの	1位		2位		3位	
----------------------------	----	--	----	--	----	--

(2) お住まいの身近な環境を良くするために、特に改善が必要なものは何ですか。

(下の1～20の項目の中から上位順に3つ番号を記入する)

周辺環境を良くするために、 改善が必要なもの	1位		2位		3位	
---------------------------	----	--	----	--	----	--

<項目>

- | | | |
|----------------------|---------------------|-------------|
| 1. 自然景観 | 2. 水道水の水質 | 3. 井戸水の水質 |
| 4. 周辺の静けさ | 5. 清掃やごみ処理 | 6. 日照阻害 |
| 7. 山の自然 | 8. まち並み景観 | 9. リサイクルの機会 |
| 10. 川や池の水のきれいさ | 11. 歴史的雰囲気 | |
| 12. 空気のきれいさ | 13. 川や池の水や水辺とのふれあい | |
| 14. 市民の環境に関するモラル（道徳） | 15. 公園、野外レクリエーション施設 | |
| 16. 野鳥や昆虫等の生き物とのふれあい | 17. 身近な緑とのふれあい | |
| 18. 省エネルギーの情報提供等 | 19. 環境保全活動への参加・機会 | |
| 20. 文化財、遺跡等の保存、整備 | | |

- 現在の市民の行動状況を計画に掲載することを検討。
- 設問は前回調査から一部変更（宅配サービス、カーシェアリング、食品ロスの視点等を追加。一部の項目を統合・削除）。
- 区域施策編において、温室効果ガスの将来推計の条件等に活用。
- ごみに関連する設問は別途予定している廃棄物処理基本計画策定におけるアンケートで問うこととし、本アンケートでは設問に設定しない。

環境の保全や地球温暖化対策のための行動について

問8. 環境の保全や地球温暖化対策のための行動を実行していますか。また、今後の取り組みへのご意向はいかがでしょうか。

項目ごとの「現在」「今後」についてお答えください。

(それぞれ1つずつ選び、番号に○をつける)

項目	現在				今後	
	いつも実行している	たまに実行している	実行していない	実行出来る環境にない(エアコン・車を所有していない、近隣にサービスがないなど)	実行したい	実行するつもりはない
エネルギー	クールビズ・ウォームビズ（気候に合わせた服装）をしている	1	2	3	—	1 2
	エアコンの温度などを適切に調整している	1	2	3	4	1 2
	不要な電気の使用は避けている（電源をOFFにするなど）	1	2	3	—	1 2
	郵便や宅配サービスは1回で受け取っている（日時指定・宅配ボックス・置き配などを活用して再配達を利用しない）	1	2	3	—	1 2
	環境家計簿をつけている	1	2	3	—	1 2
車	出来るだけ自動車を使わず、徒歩・自転車・公共交通機関を利用して移動している	1	2	3	4	1 2
	自動車に乗る際には、エコドライブ（急発進/急停車をしない等）を実施している	1	2	3	4	1 2
	自動車を利用する際に、カーシェアリング（自動車を共同使用するサービス）を活用している	1	2	3	4	1 2
食	食事を食べ残さないようにしている	1	2	3	—	1 2
	食べ切れる量を買う、工夫して保存するなど、食材の廃棄をしないようにしている	1	2	3	—	1 2
	旬の食材を意識して購入している	1	2	3	—	1 2
	地元の食材を意識して購入している	1	2	3	—	1 2
節水・排水	台所で食用油や食べかすを排水口から流さないようにしている	1	2	3	—	1 2
	日常生活で節水に気をつけている	1	2	3	—	1 2
	洗剤の使いすぎに注意したり、環境にやさしい洗剤（石けんなど）を使うように努めている	1	2	3	—	1 2
ごみ・リサイクル	生ごみ処理機やコンポスト容器等を利用している	1	2	3	4	1 2
	すぐに不要になりそうなものは買わず、長く使えるものを選んで	1	2	3	—	1 2
	リサイクル・リユース素材を使った物を選んで購入している	1	2	3	—	1 2

項目		現在				今後	
		いつも実行している	たまに実行している	実行していない	実行出来る環境にない(エアコン・車を所有していない、近くにサービスがないなど)	実行したい	実行するつもりはない
ごみ・リサイクル	マイバッグ、マイボトル、マイ箸、マイストロー等を使っている	1	2	3	—	1	2
	家庭にあるものを修理や補修することで、長く大切に使っている	1	2	3	—	1	2
	物が必要なときや不要なときに、リサイクルショップやフリーマーケット（インターネットサービスを含む）などを利用している	1	2	3	4	1	2
	ペットボトルなどの資源ゴミをきちんと分別している	1	2	3	—	1	2
	簡易な包装の商品、環境配慮のマークが付いた商品（エコマークなど）、バイオマス由来プラスチックを使った商品、詰め替え製品などを購入している	1	2	3	—	1	2
地域活動	環境保全活動に参加している 例：動植物の生息場の整備・調査、外来生物対策、環境講座への参加、河川や海等の環境美化（清掃）活動、環境保護団体への登録・寄付活動	1	2	3	—	1	2
	お住まいの地域の一斉清掃等の美化活動に参加している	1	2	3	—	1	2
	地域の自然環境や生物多様性を大切にすることを心がけている	1	2	3	—	1	2

【コラム】ゼロカーボン・ゼロカーボンアクションとは

「ゼロカーボン」とは、企業や家庭から排出されるCO₂などの温室効果ガス（カーボン）をできるだけ削減し、削減しきれない排出量を森林の吸収分と相殺して、実質的に排出量を0（ゼロ）にすることです。

古賀市は、令和3年11月に2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロをめざす「**ゼロカーボンシティ宣言**」をしました。本市の緑豊かな山々や白砂青松の美しい海岸線を有する海、さらにこの海に注ぐ大根川などをはじめとする豊かな自然を守り、誰もが安心して暮らせる持続可能で豊かな環境を次世代につないでいくため、そして、未来の地球のために、ゼロカーボンシティの実現を目指します。

また、環境省では、家庭からのCO₂排出量の削減を図るため、暮らしを脱炭素化するアクション「**ゼロカーボンアクション30**」（右図）を発信しています。このアクションには、問8に示すようなエネルギーを節約するための行動や、食事を食べ残さない・今持っている服を大切に着るといった行動も含まれています。また、家庭用の太陽光パネルや蓄電池といった設備を導入することで、CO₂の排出を抑えることが可能です。

これらのアクションは、CO₂の削減のほかにも光熱費や食費の節約など、様々なメリットに繋がることもあります。自分のライフスタイルを振り返り、こういったゼロカーボンアクションが可能か、考えてみましょう。



- ・現在の市民の設備導入状況を計画に掲載することを検討。
- ・設問は前回調査から追加（ZEH、蓄電池、HEMS、電気自動車、燃料電池自動車等）。
- ・区域施策編において、温室効果ガスの将来推計の条件等に活用。また、目標の指標とすることも検討。

地球温暖化対策に関わる設備の導入について

問9. あなたはご家庭に導入できる地球温暖化対策に関わる設備をご存じですか。また、地球温暖化対策に関わる設備を導入していますか。「認知度」と「導入状況と今後の意向」についてお答えください。

(それぞれ1つずつ選び、番号に○をつける)

項目	設備の説明	認知度		導入状況と今後の意向			
		知っている	知らない	すでに導入している	条件が整えば導入したい	導入する予定はない	実行出来る環境にない(エアコン・車を所有していないなど)
1. 再エネ電気への切り替え	再生可能エネルギーの電力プランをもつ電力会社を選ぶことで、再生可能エネルギー普及に貢献する	1	2	1	2	3	4
2. LED 照明機器	従来の白熱電球や蛍光灯より電力を消費しない照明機器	1	2	1	2	3	4
3. トップランナー基準に適合した家電製品(エアコン、テレビ、冷蔵庫、電子レンジ等)	国が定めた省エネの基準値をクリアした製品のうち最も省エネ性能が優れている機器	1	2	1	2	3	4
4. 太陽光パネルの設置	太陽の光エネルギーを直接電気に変換する発電システム	1	2	1	2	3	4
5. ZEH(ゼッチ)の導入	家庭で使用するエネルギーと、太陽光発電などで創るエネルギーを相殺して、1年間で消費するエネルギーの量を実質的にゼロ以下にする家	1	2	1	2	3	4
6. 省エネルギーフォーム(住宅の高断熱化・高気密化)	ペアガラス(二重サッシ)や壁、天井、屋根などに断熱材を入れて高断熱・高気密化を図る	1	2	1	2	3	4
7. 蓄電池の活用	貯めた電気を供給するシステム。太陽光パネルと併用して夜間の電気を節約したり、災害時に活用する	1	2	1	2	3	4
8. 高効率給湯器の設置	エコキュート、エネファーム、エコジョーズ、エコフィールなど	1	2	1	2	3	4
9. HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)の導入	家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。家電や電気設備とつないで、電気やガスなどの使用量をモニター画面などで「見える化」したり、家電機器を「自動制御」する	1	2	1	2	3	4
10. ハイブリッド自動車	エンジン(ガソリン)とモーター(電気)など、複数の動力で走る自動車	1	2	1	2	3	4
11. 電気自動車	電気をエネルギー源とし、電動機(電気モーター)で走行する自動車	1	2	1	2	3	4
12. 燃料電池自動車	水素と酸素から電気をつくる「燃料電池」を搭載し、モーターで走る自動車	1	2	1	2	3	4

・再エネ導入推進施策の検討にあたり、特に普及拡大を見込む「太陽光発電」「蓄電池」「電気自動車」について導入に必要な条件を問う。(前回にはない設問)

問9-1. 「4. 太陽光パネルの設置」の「2 (条件が整えば導入したい)」と答えた方におたずねします。どのような条件が整えば導入したいと思いますか。

(1つ選び、番号に○をつける)

1. 設備の購入価格が安くなること
2. 公的機関(国・県・市等)の補助金が整備されること
3. 発電効率の向上などの技術が向上すること
4. 設備の導入にかかった費用の元が取れるほどの売電収入があること
5. その他()

問9-2. 「7. 蓄電池の活用」で「2 (条件が整えば導入したい)」と答えた方におたずねします。どのような条件が整えば導入したいと思いますか。

(1つ選び、番号に○をつける)

1. 設備の購入価格が安くなること
2. 公的機関(国・県・市等)の補助金が整備されること
3. 蓄電効率の向上などの技術が向上すること
4. その他()

問9-3. 「11. 電気自動車」で「2 (条件が整えば導入したい)」と答えた方におたずねします。どのような条件が整えば導入したいと思いますか。

(1つ選び、番号に○をつける)

1. 電気自動車の購入価格が安くなること
2. 公的機関(国・県・市等)の補助金が整備されること
3. 航続可能距離の向上などの技術が向上すること
4. その他()

その他、アイデアや要望について

問1 1. 市の環境を良くするためのアイデアや要望、自由なご意見をご記入ください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないかももう一度お確かめの上、本回答用紙を同封の返信用封筒に入れ、●月●日（●）までに、郵便ポストに投函頂きますようお願い致します。

次期環境基本計画を検討するワークショップにご協力ください

市では、次期（第3次）環境基本計画を検討するにあたり、市民の皆様のご意見を聴き、計画に反映させることを目的としたワークショップを開催する予定です。

参加いただけるご意向がある方は、以下の方法でご応募ください。

応募者の中から抽選で当選された方に、事務局からご連絡させていただきます。

【ワークショップの概要】

- ・開催予定時期：令和4年11月～令和5年3月
- ・予定回数：3回程度
- ・開催場所：古賀市役所

【応募方法】専用フォーム または お電話でご応募ください。

① 専用フォームから応募

以下のURL または QR コードから
ご応募ください

<https://www.0000.00.00/>



見本



② 電話で応募

古賀市 環境課 担当：市川・村山
TEL：092-942-1127

環境基本計画のワークショップに参加希望
の旨、お伝えください。